

2025年3月11日

報道関係者各位

**「健康経営銘柄」に3年連続選定
9年連続で「健康経営優良法人～ホワイト500～」にも認定**

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村和夫）は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」に3年連続で選ばれました。また、「健康経営優良法人～ホワイト500～」に9年連続で認定されました。



明治グループでは「明治グループ健康経営宣言」のもと、社員の心身の健康を経営的な視点から捉え、その維持・増進に戦略的に投資することで、生産性の向上を図っています。また、グループスローガン「健康にアイデアを」を体現する企業として、社員が健やかで活力ある状態を保つことが重要と考え、「明治グループ健康経営戦略マップ」を策定・開示し、課題解決に取り組んでいます。現在の社員の健康課題を「生活習慣病予防に向けた肥満者の減少」と捉え、「食事」「運動」「喫煙」の生活習慣の改善に向けて、それぞれに目標値を設定し各種施策を進めています。また、在職中死亡者ゼロを目指し、社員自身の健康管理意識の強化・行動変容を促す施策を強化しています。

【健康課題に関する主な取り組み】

・食事

食品事業会社の（株）明治 広報部の食育チームが、明治グループの全国の事業所で「コレステロールと中性脂肪のコントロール術セミナー」を実施し、「コレステロールの体内の動き」や「食事のポイント」の知識を深めると共に、各自の食習慣を振り返る機会としました。

また、朝食喫食率の上昇を目的に、「朝食 BOX」といった朝食補助になりうる商品（当社商品を含む）を入れたケースを一部の事業所に設置し、朝食喫食率の上昇の実現につながっています。

・運動

ウォーキングの習慣化に向けて、通年実施の「ウォーキングマイレージ」を継続するとともに、2024年より10・11月を強調月間とした「明治グループ職場対抗戦」を開始しました。また、個人・チームで健康につながる目標を全社に宣言し、社内で共有し実践することで、健康意識を高め、行動の習慣化を目指すための「Kenko My Boom 宣言」施策も継続実施しています。

・喫煙

グループの各事業所で受動喫煙防止や禁煙に向けた取り組みを行い、禁煙意識の醸成に力を入れています。これまで、自らの体験を踏まえたトップからの呼びかけ、全役員禁煙宣言など、経営層から禁煙への本気度を示してきました。2024年は、一層の取組み加速に向け、部長層の喫煙者に対し、医師による禁煙セミナーおよび禁煙カウンセリングを実施しました。結果、多くの社員の卒煙に向けた行動・態度変容が見られており、会社の重要ポスト人材の意識変革につながっています。

・「健康休暇」の導入による健康管理に向けた行動促進

病気の早期発見・重症化予防を目指し、各種検診の受診（人間ドック、婦人科検診、歯科検診、定期健診に基づく二次検査など）、各種ワクチン接種の際に使用できる有給の特別休暇として「健康休暇」を導入しています。さらに、e-ラーニングなどを通じて健康リテラシーを向上させる取り組みを行い、社員が自身の健康管理に対する意識を高め、行動しやすい環境整備を図っています。

明治グループはグループスローガン「健康にアイデアを」のもと、社員一人一人が自身の健康に対して高い意識を持ち、心身ともにイキイキと快適に働ける企業を目指し、今後もより一層健康経営を推進していきます。

【参考情報】

明治グループの健康経営について

https://www.meiji.com/sustainability/society_creation/talent/#content-9

明治グループ健康経営宣言

健康経営を推進していくための取り組み方針を、「明治グループ健康経営宣言」として表明しています。

<https://www.meiji.com/pdf/sustainability/esg/health-management.pdf>

健康経営戦略マップ

健康経営投資から施策の効果までのつながりを明らかにした「健康経営戦略マップ」を策定・運用しています。

https://www.meiji.com/pdf/sustainability/society_creation/talent-health_map.pdf

「健康経営銘柄」について

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenko_meigara.html

以上